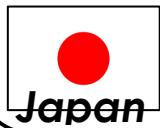


架け橋



JICA 海外協力隊 2021 年 1 次隊

ナミビア 小学校教育

ウサコス エロンゴサ小学校

川畑 舞



第 14 「伝統文化継承の日 (Heritage Day)」号

1、伝統文化継承の日 (Heritage Day)

今回は、ナミビア共和国の伝統文化継承の日の様子についてお伝えします。9月23日は伝統文化継承の日 (Heritage Day)でした。ナミビア共和国にある多種多様な民族の伝統や文化を継承し、**他民族の文化を尊重する心を育む日**です。エロンゴサ小学校では、文化の垣根を越えて、児童が他民族の衣装を着たり、踊りを踊ったり、食べ物を食べたりするという行事が行われました。

| オバンボ族 | カバンゴ族 |
|---|--|
|  |  |
| <p>2・3人ずつ真ん中に出て、回ったり跳ねたりして踊りました。</p> | <p>食べ物のカゴや飲み物のカップなどを使って歌ったり踊ったりしました。</p> |
| ダマラ族 | 各民族の伝統料理 |
|  |  |
| <p>長老の先導の下、男女がペアとなってステップを踏みながら踊りました。</p> | <p>各民族の伝統料理が並べられ、みんなで試食しました。</p> |

学校生活を送っていると、先生や子供たちがよく口にする言葉があります。それは「リスペクト」、日本語で「尊重する」という意味です。各民族によって衣装、歌や踊り、伝統料理など文化や価値観の異なるナミビア共和国では、他民族を尊重する心がなければ人々の共生は不可能です。エロンゴサ小学校は、「世界の縮図」かのように、異文化をもった子供たちが一つの教室で一緒に学習をしています。時折、子供たち同士で小さな喧嘩をすることはありますが、他民族の友達を避けたり、馬鹿にしたりすることはなく、互いに認め合いながら学校生活を送っています。伝統文化継承の日を通して、多種多様の民族が集まる国で他民族を尊重する心を育む教育は、平和な未来を築くためにとても大切だと感じました。

2、日本文化の紹介 (Heritage Day)

伝統文化継承の日の前日、児童より「明日、日本の衣装を着て、日本の食べ物を学校に持って行きたいのですが…」との相談がありました。そこで、放課後に彼女の家へ行き、浴衣の着方を教えて、おにぎりを一緒に握りました。具材は、彼女が一人でも作れるように任地にある食材を使ってツナマヨネーズにしました。

伝統文化継承の日、そのツナマヨネーズおにぎりが学校で大人気となり、地域の保護者や学校の先生、子供たちより「すごく美味しかったです。もっと作ってまた学校に持って来てください。」との言葉をたくさんいただきました。

学校で日本人は私一人なので、初めは日本の文化を受け入れてもらえるか、おにぎりを美味しいと言ってもらえるかなど色々不安だったのですが、彼女と一緒におにぎりを作って紹介したことで、大勢の人に日本の文化（浴衣とおにぎり）を知ってもらうことができました。本当に嬉しかったです。

| 浴衣を着る児童 | おにぎりを食べる先生 | 彼女が作ったおにぎり |
|---|--|---|
|  |  |  |